

平成21年3月期

第3四半期

(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

決算短信補足資料

第3四半期累計の連結経常利益は、当初計画1,200百万円  
に対し、1,358百万円を計上いたしました。

FUJI フジ住宅株式会社

平成21年1月30日(金)

# 目次

## PAGE

1. 平成21年3月期 第3四半期連結累計期間 決算サマリー  
(平成20年4月1日～平成20年12月31日)
2. 連結要約損益計算書(計画・実績)
3. 受注契約高実績進捗状況
4. 通期目標達成見通しの根拠  
(連結売上高実績進捗状況)
5. 連結売上高の推移
6. 連結経常利益の推移
7. 連結経営成績の前年同期比較
8. 配当について
9. 業績予想の適切な利用に関する説明

# 平成21年3月期 第3四半期連結累計期間 決算サマリー

(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## 1. 業績の状況

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、31,960百万円(期初計画比0.1%減)、連結経常利益1,358百万円(期初計画比13.2%増)、連結純利益773百万円(期初計画比11.1%増)となりました。

※2ページご参照

## 2. 当第3四半期連結累計期間の業績は通期計画の3/4を下回っておりますが、当第3四半期連結累計期間の順調な受注契約と第4四半期連結会計期間での計画通りの売上高が見込まれる為、当期の売上目標は十分達成可能との見通しです。

※3・4ページご参照

	売上高	営業利益	経常利益	(四半期)当期 純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
第3四半期連結 累計期間実績	31,960	1,533	1,358	773	22.86
通期予想	44,600	2,461	2,230	1,293	40.41

※当第3四半期連結累計期間実績の通期予想に対する達成率は、売上高において71.7%、営業利益において62.3%、経常利益において60.9%、純利益において59.8%です。

## 連結要約損益計算書(計画・実績)

(単位:百万円)

	平成21年3月期 期初第3四半期計画	平成21年3月期 第3四半期累計実績	増/△減
売上高	31,975	31,960	△ 15
営業利益	1,373	1,533	160
経常利益	1,200	1,358	158
連結純利益	696	773	77

※ 当第3四半期連結累計期間の期初計画に対しては、営業利益で160百万円、経常利益で158百万円、連結純利益で77百万円、それぞれ上廻りました。

## 受注契約高実績進捗状況

当第3四半期連結累計期間実績(平成20年4月～平成20年12月)の受注契約高は年間計画に対し、81.6%の実績進捗率となり順調に推移しました。

	平成21年3月期 期初第3四半期計画	平成21年3月期 第3四半期累計実績	増/△減	平成21年3月期 通期計画	進捗率
受注契約高	26,067 百万円	28,426 百万円	2,359 百万円	34,849 百万円	81.6%

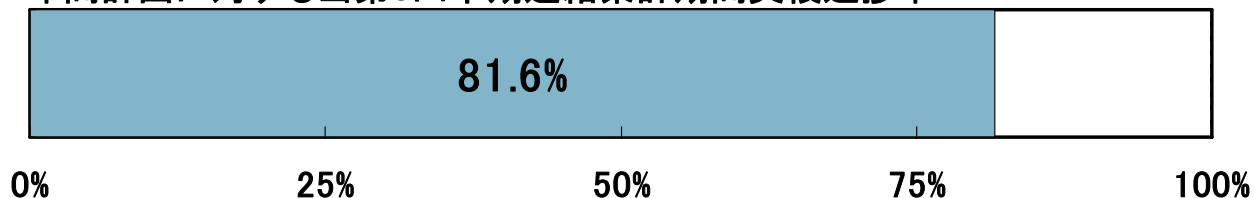
当第3四半期連結累計期間受注契約高実績

(単位:百万円)



※当第3四半期連結累計期間の受注契約実績は計画に対して2,359百万円上廻りました(達成率109.0%)

年間計画に対する当第3四半期連結累計期間実績進捗率



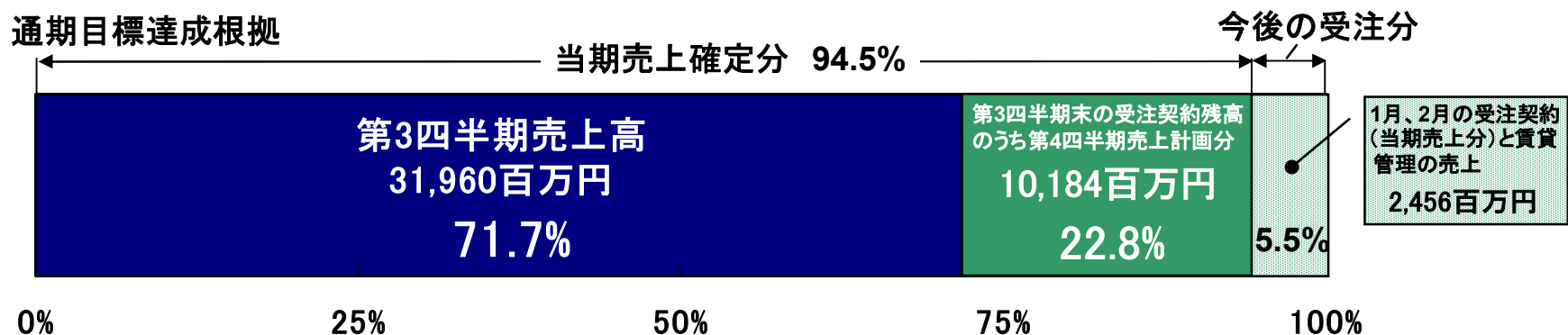
# 通期目標達成見通しの根拠

(連結売上高実績進捗状況)

当第3四半期連結累計期間の連結売上高実績は期初計画に対してマイナス15百万円となりましたが、当第3四半期連結累計期間の連結売上高実績に、当第3四半期末の受注契約残高のうち10,184百万円の第4四半期売上計画分を加えた42,144百万円が当連結会計年度の売上に見込まれており、年間売上計画の94.5%に達しています。さらに、当第3四半期連結累計期間迄に4,828百万円を売上げた賃貸・管理と順調な受注実績を計上した中古住宅・小規模建売一戸建住宅の1月、2月の受注契約分の売上が加わることで売上目標が達成できる見通しの他、売上総利益率、販管費も計画通りに推移していますので通期目標は達成できる見通しです。

	平成21年3月期 期初第3四半期計画	平成21年3月期 第3四半期累計実績	増/△減	平成21年3月期 通期計画	進捗率
連結売上高	31,975百万円	31,960百万円	-15百万円	44,600百万円	71.7%

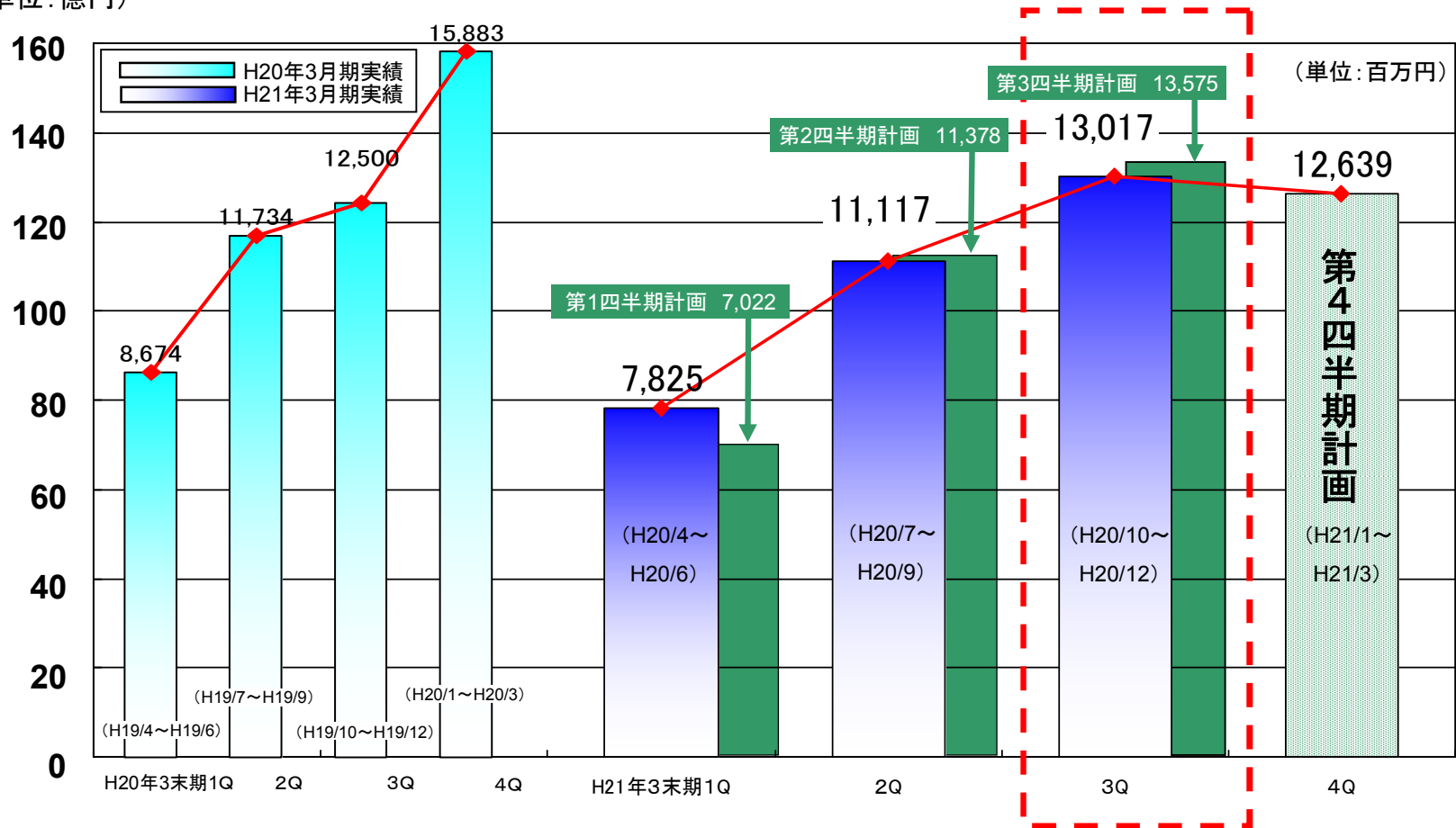
## 通期目標達成根拠



# 連結売上高の推移

不動産業の一般的な傾向として、マンション・住宅の引渡し(売上計上)は下半期(第3四半期・第4四半期)に集中する傾向があります。

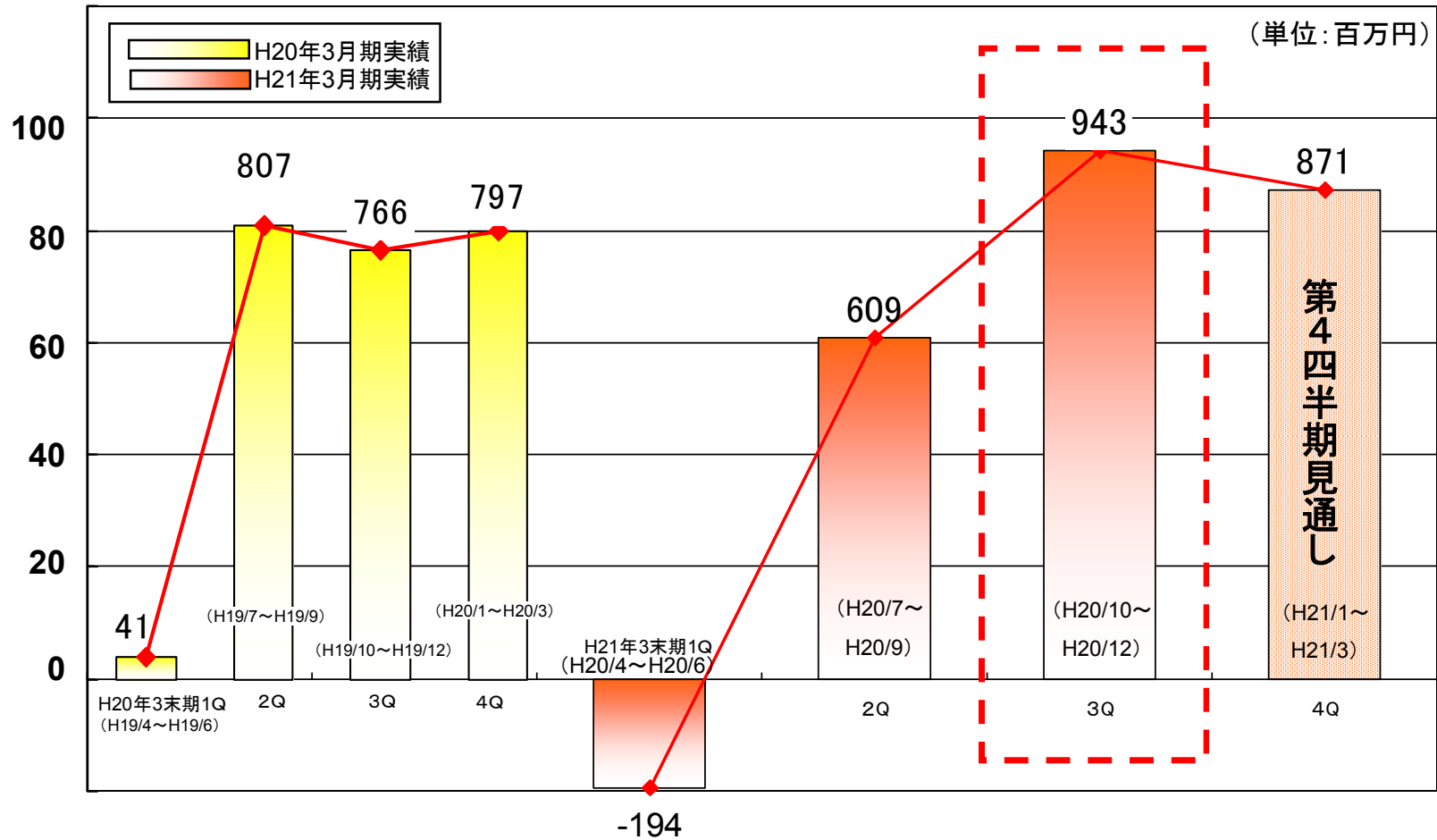
(単位:億円)



# 連結経常利益の推移

不動産業の一般的な傾向として、マンション・住宅の引渡し(売上計上)は下半期(第3四半期・第4四半期)に集中する傾向があります。

(単位:億円)





# 連結経営成績の前年同期比較

(単位:百万円)

	前 年 同 期 自平成19年 4月 1日 至平成19年12月31日	当 第 3 四 半 期 自平成20年 4月 1日 至平成20年12月31日
売 上 高	32,909	31,960
経 常 利 益	1,615	1,358
四半期純利益	1,808	773

土地有効活用事業の売上高は前年同期比170%増加しましたが、不動産投資ファンド向け賃貸マンションの売上高はなくなりました。

不動産投資ファンド向け賃貸マンションの売上高646百万円が含まれております。

土地有効活用事業に係る販売手数料が増加しました。

固定資産(土地)の販売に係る税効果会計の適用により、法人税等調整額の戻し入れが発生し四半期純利益が925百万円増加しました。

## 配当について

中間配当(実績)	1株あたり	8円
予想期末配当金	1株あたり	9円

## 業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等によりこれらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。